

今こそ「人間の安全保障」を  
—開倫ユネスコ協会・ロシアによるウクライナ侵攻・緊急アンケートで考える—

開倫塾

塾長 林明夫

Q：開倫ユネスコ協会で「ロシアによるウクライナ侵攻」のアンケート調査をしたそうですね。開倫ユネスコ協会とは何ですか。

A：「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦(とりで)を築かなければならない」というユネスコ(国連教育科学文化機関)の精神のもと、「人間の安全保障の推進」を基本理念に 2021 年に設立されたユネスコ協会です。日本ユネスコ協会連盟の承認の下に設立され、今年で設立 21 周年を迎えます。現在日本には約 300 のユネスコ協会やユネスコクラブがありますが、その 1 つです。

Q：なぜ、アンケート調査をしたのですか。

A：(1)2022 年 2 月 24 日にロシアがウクライナに侵攻し、目を覆うような惨状が連日報道される中、小学生、中学生、高校生はどのように思い、考えているのかを知りたかったからです。  
(2)開倫塾の塾生を中心に 3 月 17 日から 3 日間、自由記述(ロシアのウクライナ侵攻についてどのように思い、考えましたか。自由にお述べください)のアンケート用紙を配付、その場で書いていただきました。「書き切れない場合は、うら面もお使いください」と付記しましたら、多くの方がうら面も使いアンケートに答えてくださいました。  
(3)アンケートは 3 日間で小学 5 年生から高校 3 年生まで何と 806 通集まりましたので、入力し、集計、印刷して開倫塾の全校舎に配付すると同時に、3 月 31 日から開倫塾のホームページにも掲載しています。よろしかったらご一読ください。

Q：どのような回答が多かったですか。

A：(1)数行の短いものもありましたが、大半は 100 字以上でした。800 字以上のものもかなりあり、本格的な意見表明の内容が多いように思われました。  
(2)なぜロシアがウクライナを侵攻したのか、ウクライナの NATO 加盟の動きまで言い及んでいるものもあり、よく勉強しているなと感じました。  
(3)「何とも思わない」と正直に答えてくれたものもありました。多くの塾生はロシアのウクライナ侵攻に多大な関心を寄せ、できることがあればしたいという気持ちを表明しているものもかなりありました。

Q：ところで、「今こそ『人間の安全保障』を」とありますが、「人間の安全保障」とは何ですか。

A：(1)日本の外交政策は「国際協調」と「人間の安全保障」の 2 つですので、日本の外交政策の柱の 1 つです。(このことを知る人はあまりいないようです)  
(2)「人間の安全保障」とは何か。「安全保障」には「国家の安全保障」と「人間の安全保障」

の2つがあります。

(3)①「国家の安全保障」とは、他の国の侵略から「国家の安全を保障」という「従来型の安全保障」で、極めて重要なものです。

②「人間の安全保障」とは、一人ひとりの人間に着目して「人間の中枢にある自由を守る」ことです。「人間の安全保障」は、人間自身に内在する強さと希望によって立ち、死活的かつ広範な脅威から人々を守ることを意味します。

③「人間の安全保障」は「欠乏からの自由」「恐怖からの自由」、あるいは、自身のために行動する自由といった様々な自由を結びつけます。「保護」と「能力強化」が、「人間の安全保障」のこうした目的を達成するための総合戦略です。

**Q：「保護」と「能力強化」ですか。**

A：(1)その通りです。2月24日から今日までに及ぶ「ロシアによるウクライナ侵攻」の報道をご覧ください。人々を危険から「保護」するには、一貫した規範・プロセス・制度を国際社会が協調して構築する必要があります。

(2)また、停戦が成立したあかつきには、ウクライナの人々は「能力強化」し、自らの可能性を开花させ、意思決定に参画できることが必要になります。

(3)「保護」と「能力強化」は、相互補完関係にあり、このウクライナの状況でも双方ともが必要となります。但し、生命の存在を脅かされる現在は、「保護」が急務です。

**Q：「人間の安全保障」を「確保」するにはどうしたらよいのですか。**

A：(1)暴力を伴う紛争下における人々の「保護」

(2)移動する人々の「保護」と「能力強化」

(3)紛争後の状況下における人々の「保護」と「能力強化」

\*「紛争下にある人々を保護する責任」は、「再建する責任」と併せて考えるべきです。

(4)経済の安全保障——様々な選択肢の中から選ぶ力

(5)人間の安全保障のための保健・衛生

(6)人間の安全保障のための知識・技術・価値観

\*ロシアによるウクライナ侵攻中は「保護」、侵攻終了後、復興段階では「能力強化」と考えます。

**Q：まとめていうとどういうことですか。**

A：(1)暴力を伴う紛争下の人々を「まずは保護」すること

(2)「武器の拡散」から人々を「保護」すること

(3)移動する人々の安全を確保すること

(4)紛争後の状況下で「人間の安全保障基金」を設立すること

(5)極貧下の人々が恩恵を受けられる公正な貿易と市場を支援すること

(6)普遍的な生活最低基準を実現するための努力を行うこと

(7)基礎保健サービスの完全普及実現により高い優先度を与えること

(8)特許権に関する効率的かつ衡平な国際システムを構築すること

(9)基礎教育の完全普及により、すべての人々の能力を強化すること

(10)人々が多様なアイデンティティを有し、多様な集団に属する自由を尊重すると同時に、この地球に生きる人間としてのアイデンティティの必要性を明確にすること

\* 以上は、2003年5月1日に人間の安全保障委員会(共同議長はアマルティア・セン氏、緒方貞子氏)が国連に提出した「人間の安全保障委員会最終報告書」をまとめたものです。

**Q：学習塾・予備校・私立学校の経営幹部の先生方にお伝えしたいことは何ですか。**

A：(1)「ロシアによるウクライナ侵攻」について何をどのように考えるのかの1つの「目安」「ベンチマーク」として、「人間の安全保障委員会最終報告書」は有用と考えます。

(2)SDGs17項目の観点から「紛争下」と「紛争終結後」に分けて何をどうしなければならないかをクラスごとに考えることをおすすめします。

(3)その場合に、「人間の安全保障」が示す「保護」と「能力強化」をどうしたらよいかを考えると議論が深まると確信します。

(4)日本の47都道府県はウクライナからの難民を1万人ずつ受け入れ、合計50万人のウクライナ難民の受け入れを、日本政府は表明すべきと考えます。人口減の日本には、空家が山ほどあり、学校もガラガラですので、創意工夫すれば各都道府県で1万人の受け入れは可能と考えます。

(5)そのときは、全国の学習塾・予備校・私立学校・日本語学校が大いに協力して参りましょう。皆様はどのようにお考えですか。

**Q：最後に一言どうぞ。**

A：今月はお陰様で201号となりましたので、誠に僭越とは思いますが、先生方がお読みになれば必ずお役に立つと思われる新聞と雑誌をいくつかご紹介させていただきます。是非、少し大きめの図書館などで手にお取りになり、ご覧いただければ幸いです。

(1)おすすめの第1は、3つの「英字新聞」です。

①おすすめの英字新聞の1つ目は、読売新聞の英字新聞「The Japan News」です。読売新聞を一面からなめるようによく読んだ後、一気に読むとどンドン頭に入るのが、「The Japan News」です。英検準2級に合格程度の生徒にも超おすすめです。

②2つ目は、「The Japan Times」です。英文は読売「The Japan News」よりも少し難しいですが、英検2級合格程度なので、日本の新聞各紙をよく読んだ後ならかなりわかります。

③3つ目は、「The Japan Times」の中に入っている「The New York Times」です。「The Japan News」や「The Japan Times」で英字新聞に慣れてきたら、The New York Timesの興味のある記事を毎日少しずつ読むことをお勧めします。英検準1級程度かもしれません。

④英字新聞、特に「New York Times」を毎日少しずつでも読んだほうがよい理由は、1つの記事の分量が多いためか、記事の内容に深みがあるからです。いろいろな国の記者やコラムニストたちが、内容を競いながら執筆しているので興味が尽きません。

(2)お勧めの雑誌は3つあります。

①1つ目は、月刊誌「選択」です。新聞各社の俊敏記者や論説委員が匿名で執筆している「本音トーク」の記事が満載です。

②2つ目は、イギリスの経済週刊誌「The Economist」です。写真や風刺マンガだけ目を通してでも勉強になります。「カバーストーリーズ」「特集」「アジア」「中国」「米国」「南米」「中東アフリカ」「欧州」「英国」「国際」「ビジネス」「金融」「科学」「文化・書評」「統計資料」「物故者」などいくら時間があっても読み終わりません。

③3つ目は、隔月刊の「The Foreign Affairs」です。何が「これから」の世界で問題となるのか、問題の所在を知るのに役立ちます。文字が大きいので読みやすいと評判の雑誌です。

(4) 「3年目に入ったコロナ禍」と「本年2月24日からのロシアによるウクライナ侵攻」の2つの世界的な出来事は、日本をはじめ世界の国々の経済と人々の日々の生活に大きな衝撃を与えています。このような時期だからこそ、一人ひとりの人間の安全に着目して、生命や自由、財産などを「保護(protect)」し、あらゆる状況に対応できるよう一人ひとりの人間が「能力強化(Empowerment)」を図る日本外交の基本方針である「人間の安全保障(Human security)」という考え方が大切と考えます。「人間の安全保障」とは何か、これから大いに勉強して参りましょう。

2022年4月11日記